

令和2年度起業支援事業費補助金採択者で開業された方を訪問

6月24日（木）

亀岡市南つつじヶ丘にある事業所の「いも吉」を訪問し、個人事業主である尾花さんに出迎えてもらいました。



●尾花さんにヒアリング

（起業しようと思った動機）

定年退職を迎えることになり、退職後に何かできないかを考えていたことがきっかけでした。

休耕地の有効活用を考えていたところ、ある日スーパーで「干し芋」を見かけたことにより、事業案を閃いたとのことでした。

茨城県で「干し芋」の事業をされている方に飛び込みで修行し、芋の洗い方や蒸し方、選別方法などを学びました。

（事業のアピールポイント）

一般的に干し芋というと「堅い」イメージがありますが、「いも吉」さんの干し芋は水分を残したことにより「こったり」な仕上がりとなっています。

また、注文を受けてから天日干しをし、1週間程度で仕上げることで新鮮なまま提供しています。

主な販売先はガレリア亀岡や百貨店となっています。コロナの影響をもろともせず売上は好調とのことでした。WEBサイトでの注文も行っており、中高年層が主な販売層となっておりリピーターも続出とのことでした。

(今後の事業展開)

大量生産が可能な工場の建築を予定されています。ただし、天日干しでは大量生産の対応が出来ないとのことで、丹波産の干し芋としてのブランドを堅持しながらトップとセカンドブランドの差別化を図っていくとのことでした。

●中小企業応援隊の声

尾花さんはしっかりとした事業計画をお持ちで、初めて申請書を持参されたときには、ほぼ申請書が完成していました。「ほし芋を知らない人が審査をする」ということを念頭に置いた申請書支援を行ったとのことでした。

今後は工場建設に向けて、尾花さんと物件探しをされるそうです。

起業支援事業費補助金を活用して蒸し器を購入（左）
干し芋の様子（右）

